

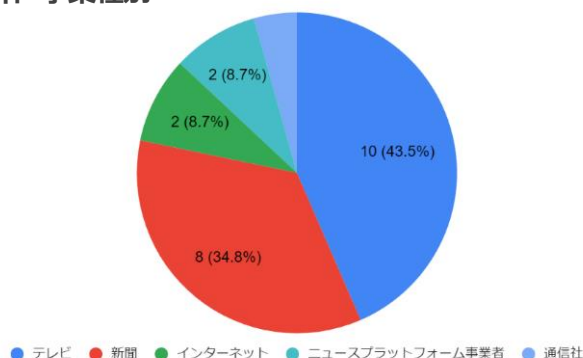
いのち支える自殺対策推進センター主催

「第3回 自殺報道のあり方を考える勉強会」(9/3) アンケート結果の概要

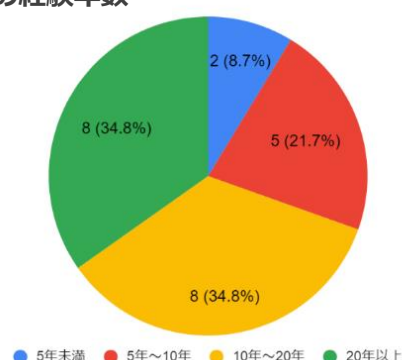
※参加者 78 名（関係者除く）中、アンケートに回答したのは 23 名（回答率 29%）

■ アンケート回答者の属性

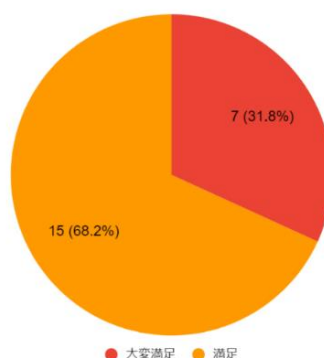
媒体・事業種別



報道現場の経験年数



1. 本勉強会に参加しての満足度をお答えください



2. 本勉強会に参加した理由を教えてください（自由記述）

- 自殺報道がさらなる自殺者を誘引しない報道の在り方を学びたいと思ったから。相談窓口を案内するだけでいいのか、との疑問もありました。
- 自殺報道は「突発」で対応することが予想され、その際に必要な考え方を学び、自分の中で整理しておく必要があると考えたため。
- 社内のルール作りなどに携わってきたため、知識をアップデートしたいと思い、参加しました。

3. 今後の自殺報道に生かせそうなこと、あるいは改善に向けて、依然、難しさを感じる課題等があれば、教えてください

他社の取り組み事例が知れて良かった

- 啓発効果があって、なおかつコンテンツとして一般の人への訴求力があるものを作るというのは難しいことだと感じています。今回の勉強会のように、他社の優れた取り組みを知ることができる場があるのはありがたいです。

メディアだけでなく、プラットフォーム事業者や個人（市民）レベルでの発信の改善が必要

- ネットメディアのガイドラインをつかったとしても、メディアは遵守したところで、いまのネット上の情報流通の問題は、いわゆる「まとめサイト」「トレンドブログ」、さらに YouTube といった個人ないしは小規模企業が発信している情報の質であり、そこには届かない。プラットフォーム等々の幅広い巻き込みが必要。

あるべき自殺報道を行っていくには社内教育や社内外での議論・検討が必要

- 課題と感じているのは「自殺報道には大きなリスクがあり、細心の注意が必要」という事実を広く社内に徹底する難しさです。特に新聞は見出しが大きなインパクトを持ちますが、今年の著名人自殺事案の際、残念ながら弊紙の見出しは不適切なものでした。弊社特有の事情かもしれませんが、整理部の整理記者には外勤経験のない者や技術職出身の者もあり、「報道が与える影響への意識」という点で個人差があります。そういった点を社としてしっかり教育する場が必要だと感じています。
- 自殺に関する報道に際し、相談窓口を紹介する以外の対応は依然課題で、自社としての検討が必要だと考えています。ただ、個人で取り組めることなく、国内のメディアが全体として（←それぞれの社がという意味も含めて）問題意識を持つことによって、+αの対応につながっていくのではないかと、考えています。

パパゲーノ効果について

- パパゲーノという存在を広めたいと思った。若者の自殺対策については、マスコミ報道の一方で、SNS などでの露骨な情報発信へのアプローチが重要だと感じているが、テレビの立場でなにができるかを引き続き考えていきたい。
- ウェルテル効果に比べ、パパゲーノ効果とは何かはまだ周知されていないため、この言葉の意味や背景となるデータなどをまずは報道していく必要があると思いました。

4. JSCP に期待したい取り組み、要望等があれば、教えてください。

社の垣根を越えて取り組みを共有する場づくり（勉強会の継続実施）

- JSCP の存在を勉強会に参加して初めて知ることができました。JSCP にはメディア出身者の方が多く、メディア職員が組織で抱えるハードルについても熟知されているようで、大変親近感を感じました。SNS やアプリ等のメディアの情報発信者が企業ではなく個人となるため、効果的な対策は企業よりも難しい状況が想定されますが、社会的な取り組みで、今回のような知見の情報共有や勉強する機会が必要になってくることの重要性を理解できました。JSCP はメディアや公的機関を巻き込んで推進する能力を兼ね備えた稀有な存在であるように感じました。

メディア間のハブとしての役割に期待

- メディア間の横連携などを取り持つなど、コーディネートする役割に期待しています。

メディアだけでなく、ニュースプラットフォーム、SNS 事業者を巻き込んだ対策

- ニュースプラットフォームに加え、ブログプラットフォーム、SNS プラットフォーム等を巻き込んだ対策の検討。

5. 次回の勉強会で取り上げてほしいテーマを教えてください

組織全体での自殺報道への意識浸透、その取組方法について

- 編集、制作、デジタルとさまざまな部門がある報道機関で、組織全体として自殺対策報道への意識づけをどうしているのか。具体的に取組まれている社があれば、お話を聞いてみたいです。
- こうした勉強会を経て、メディア報道や社内のガイドライン作りがどう進んでいるのか。

他社事例の共有

- SNS やアプリ等のメディアに対する効果的な取組等がございましたら、ご紹介お願いいたします。
- 引き続き、取り組みの事例ははじめ現場担当者の声が聞けると興味深いです。
- 海外の報道機関の取り組み事例。

その他

- 「無敵の人」と形容されることがありますが、拡大自殺の事件に触れる機会が増えたように感じます。報道としてどのように孤立や孤独を抱える人たちに情報発信していくべきか考えています。自殺報道を扱う側（メディア側）についても、配慮が必要と考えています。取材者に対し、どうケアしたらいいのか悩んでいる。ディレクターやアナウンサーへの配慮に取り組んでいる社があれば、事例をお伺いしたいです。